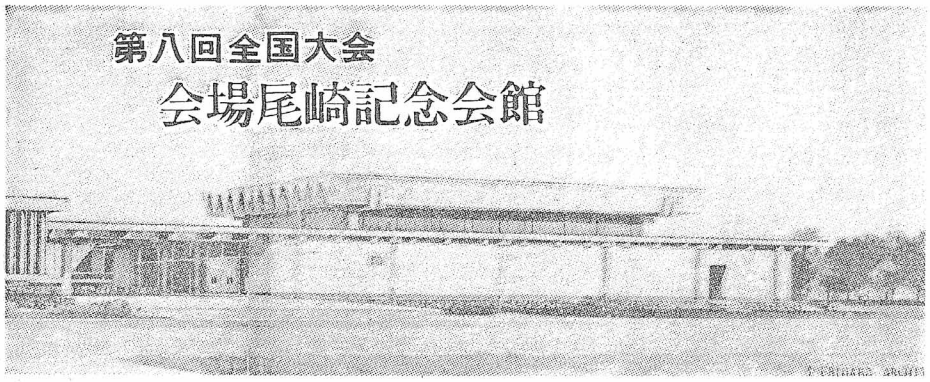
友愛
発行所 友愛青年同志会
東京都文京区音羽町7の10 電話大塚（941）2801
編集兼発行人 渡辺 昇
定価 1部10円

入会申込は支部または本部までハガキで一報下さい
東京都文京区音羽七ノ一〇
友愛青年同志会

第八回全国大会
会場尾崎記念会館



第八回全国大会は既報の通り五月三・四・五日の三日間開催することになり、諸準備が進められているが、先般会場が東京の尾崎記念会館に決まるとともに代表者の宿舎も九段会館を契約、準備をおこなっている事務局も忙がしくなってきた。去る二月十四日の第十一回常任幹事会では、第八回全国大会本部提出議題案が決まり、三月十三日付をもって、全国各支部・地区宛に全国大会招集状を発送することになった。今回の全国大会は、躍進を続ける本会の現状にかんがみ、例年以上に対外的にアッピールしようとの意向が内容にも反映し、中央・地方を通じてプログラムへの意見が多く、限ぎられた日程に折り込むのに準備委員会は、うれしい悲鳴をあげている。

第八回全国大会開催要項は既報の通り大綱が決まり、決定の事項については常任幹事会・事務局に一任されていたが、本部提出議題案会場等も正式に決定したので、本会会則並びに大会議事規則にもとずき三月十四日招集状発送のはこびとなった。

第八回全国大会

開催要項

一、主旨　友愛青年同志会は、昨年度多数の会員を派遣し本会の将来の方向を中に国内のみとどめることなく、国際的にも大きく歩を進める基盤としたのである。
ここに溢れる情熱をもって、日夜友愛運動に邁進する全国各地の本会会員各者の参集を求め、昭和三十六年度運動方針をはじめとする各種事業を討議決定するため第八回全国大会を開催する。

一、期日　昭和三十六年五月三日・四日・五日（三日間）

一、会場　尾崎記念会館（東京都千代田区永田町一の一）

一、代表者　❶各支部・地区・学校代表及び本部役員
❷支部代表三名、地区・学校代表一名
❸都道府県連からは別に二名の代表を参加させることができる
❹その他本部で認定した者

一、代表資格　❶大会一ヵ月前までに所定登録会員である者
❷各支部・地区・学校代表で、本部において認定した者
❸四月十三日までに代表者名簿を提出した者

一、参加費　代表者一名につき三〇〇円を大会当日納入する

一、提出議題案　四月十三日までに各支部・地区・学校及び都道府県連単位で提出すること

一、日程　別表

全国大会日程

五月二日（於九段会館）資格審査委員会（午後八時三〇分）大会運営委員会（午後八時三〇分）

五月三日（於尾崎記念会館）開会式・表彰式（午前十時）記念講演会（午後一時）本会議（午後三時四〇分）

五月四日（於九段会館）分科委員会（午前八時）地方支部活動報告及び総合討議（午後一時）全員懇談会（午後六時）

五月五日（於尾崎記念会館）本会議（午前九時）閉会式（午前十一時）記念パーティー（正午）

本部提出議題案

通常提出議題案と緊急提出議題案とに分け、それぞれの立案者とともに次の通り決定した。

通常提出議題案

❶昭和三十六年度運動方針並びに事業計画について（奥田・渡辺・北川・鶴巻）
❷昭和三十六年度予算について（田辺・渡辺）
❸会則一部改正について（北川・手・奥田）
❹昭和三十六年度教育啓蒙活動方針について（田手・尾形・中川・佐々木）
❺昭和三十六年度役員選出について（宮田）
❻大会宣言について（五十嵐）

緊急提出議題案

❶友愛山荘第二次建設計画について（北川）
なお議題案の名称については、地方代表の意向をくみ本年度より「池田首相と青年の懇談会開催を要望」に変更することと、特別提出議題案に「社会教育活動」「政治活動」等の意見がでたが結論に至らず、次回の常任幹事会に持ちこし、再度討議することになった。

池田首相と青年の懇談会開催を要望

昨年来文部省が主宰して開催している「青年団体幹部懇談会」の席上"池田総理を囲む懇談会"について各代表より要望があり別項の通りの要望書を作成去る三月一日同懇談会を代表して、日青協の高橋常任理事、健青会の十村委員長及び本会の奥田幹事長が中青協深見事務局長を訪ね、要望の趣旨方を申入れたところ「出来るだけ早急に実現したい」との意向を表明していたゞいた。

なお、今回の要望に賛同した団体は同懇談会参加の次の諸団体である。

ボーイスカウト日本連盟、ガールスカウト日本連盟、日本海洋少年団、日本青少年赤十字、日本キリスト教青年会同盟、日本キリスト教女子青年会、日本ユースホステル協会、日本青年連盟、全国農協青年組織協議会、農村青少年クラブ連絡協議会、日本学生農業青年協会、日本勤労青年協議会、日本BBS連盟、日本青年会議所、青年アジア協会、日本産業開発青年協会、日本経済青年協議会、修養団青年部、日本青年団協議会、日本健青会、友愛青年同志会、中央青少年問題協議会、日本青年団体国際委員会

"池田首相を囲む"
懇談会開催の要望

かねてより、わが国の青少年対策の強化推進のために御尽力されたことは、敬意を表します。

さて、去る二月三十日、下記諸団体代表が参集して、主として、社会教育問題に懇談をいたしましたが、その席上、最近の青少年の不良化問題をはじめとする各種の問題がとりあげられ、これらの解決のために政府による青少年対策の強化拡充を望むとの要望が各団体代表から強調されました。さらにこれがために政府の青少年対策の基本的な諸問題について、池田首相の「青年対策に関する基本態度」について御所信を承るほか、各団体代表の要望を披瀝するところが多いので、関係各省の担当局・部長の同席を要望するとともに、会がしばしば開かれて、甚だ有意義な役割を果してまいりましたが、この懇談会審議の状況その他を勘案されて、池田首相の出席を得て同協議会の開催を取計らわれたく、なおこの会議において、池田首相の「青年対策に関する基本態度」について御所信を承るほか、各団体代表の要望を披瀝するとともに、懇談されたいことが満場一致で申し合わされました。つきましては、かねて貴協議会の主催のもとに青年団体幹部連絡協議し、種々検討いたしたく希望致しますが、関係者の担当局・部長の同席を要望するとともに、下記団体のすべてが出席できるよう御取計い願います。

昭和三十六年二月十五日
中央青少年問題協議会
会長　藤枝泉二郎

下記団体のすべてが出席できるよう御取計い願います。

昭和三十六年二月十五日
中央青少年問題協議会
会長　藤枝泉二郎

コンゴへ救援物資
＝日本青年団体国際委員会＝

日本青年団体国際委員会（本会加盟）では、今回のコンゴにおける紛争によって生じた事態に対し、特に難民救援運動を展開することになり別掲の通り各方面に協力方を呼びかけている。

昨年来の絶えず続いている内戦のために、コンゴの数千万にのぼる無辜の人びとは想像に絶する貧困と隠微の地に彷徨している現状はいかゞ各位におかれても、つとに御承知のことと存じます。

戦火と混乱と無秩序のために家畜滅び、食するものなく、着衣に衣服のない者も道端にあって温かい救援を待っているのが偽わらざるコンゴ民衆の現実の姿であります。

われわれは、眼のあたりに見るこの人類の一大悲劇を傍観するに忍びません。わが国各層の青年十九団体（総成員七百万名）の国際的窓口たる日本青年団体国際委員会は、ここに微力を顧みずその救援に立ち上りました。

コンゴ難民救援
御協力のお願い

日本青年団体国際委員会
東京都千代田区麹町三一二
三宝産業ビル内

・日本青年団体国際委員会

医薬品を講達、国連および平和字の機関を通じて現地に急送することにいたします。

ねがわくばわれわれの意図するところを持ち込み取りの上、ご協力を即答なく志願い申し上げます。

昭和三十六年三月

第一證券
厚い信用堅実な経営
本店　東京・日本橋・三越前
支店　甲府・吉田・浜松・新潟・名古屋・他営業所全国20ヵ所

国立中央青年の家
青年群象の建立

国立中央青年の家（静岡県御殿場）に"青年群像"を建立しようという話は前々からあったが、今般その計画が一歩進み「青年群像建設委員会世話人会」が設けられ本格的に建立するために各方面に呼びかけることになった。この世話人会には、本会をはじめ、日本青年団協議会、財団法人日本青年会、日本ユースホステル協会、ボーイスカウト日本連盟、ガールスカウト日本連盟、日本健青会の七団体が加わり、計画を進めることにしている。

なお同建設計画の原案は次の通りである。

×　×　×

趣旨　明るい希望に溢れ、たくましい創造の意思に燃える青年を象徴する青年の像を国立中央青年の家の一角に建設し、来所青年を激舞する。

形態及び材質　群像として白色セメントを使用する。

製作者　芸術大学美術部淀井助教授指導の青年彫刻家グループ。

製作予定　❶デッサン出来上り、三月末❷建設委員会による製作者の打ち合せをひら き製作する像の構造を決定し、製作日程を定める❸エスキース作成、四月❹原形作成、五月～八月❺合作すえつけ、八月～九月❻除幕式九月十九日。

建設委員会の設置　❶建設の趣旨に賛同する青年団体を中心として、建設委員会を設置する。❷建設委員会は募金をはじめ建設計画を推進する。❸当面の建設委員会の構成は世話人団体とし、賛同者を加えて拡大する。❹募金計画は（イ）青年の家利用者を対象とするもの（ロ）青年団体を対象とするもの（ハ）特志者を対象とするものにわけ（イ）はできるだけすみやかに実施する。（ロ）（ハ）は建設委員会において分担して募金する。

製作予定　❶デッサン出来上り、三月末❷建設委員会による製作者の打ち合せをひら き製作する像の構造を決定し、製作日程を定める❸エスキース作成、四月❹原形作成、五月～八月❺合作すえつけ、八月～九月❻除幕式九月十九日。

柳沢喜介君
インドより帰国

日印農業青年交換訪問日本代表団は、去る一月二十四日出発以来約五週間インド各地を歴訪、農業視察にたずさわりつつ交流を深めていたが、三月三日にはネールインド首相とも会見、翌四日帰国した。

なお、同代表団には本会からも柳沢喜介（長野・御代田支部）が参加して全日程を終了、三月十日午後十時半会場無事羽田に到着した。

代表団には本会から柳沢喜介（長野・御代田支部）が参加して全日程を終了、三月十日午後十時半会場無事羽田に到着した。

今月の七日は、早くも故鳩山一郎先生の三回忌として、思い出を鮮やかによみがえらせる日でもある。毎月七日を早朝墓参会の日としていることは、既に知られているところであるが、今月は三回忌ということで、例年になく墓参者も多く賑やかなうちにもしめやかな三回忌となった。墓参のあとの朝食会では、故人の思い出話に花が咲き、我々の故人に対する追慕を益々強くした。その思い出話の中で故三木武吉老の言葉が引用された"鳩山は将の将になり得たが、兵の将にはなり得なかった。自分達は兵の将になれるが将の将にはなれない"即ちこれは故人の偉大さを証明するものというべきであろう。また柳沢渓参与の言葉に端を発して故人は餓鬼大将であったことになり、子供の頃自他共に認める餓鬼大将であった参会者の多くは大喜びであった。更に、三木武吉老の言葉を借りれば、友愛青年同志会の会員は全員一方の将であることになり、我々はその意味でも、自負をもって誇らかに、友愛運動に邁進できるであろう。

在京の会員を対象とする二回の早朝墓参会は、今後も引き続き実施するが、地方支部においても、毎月七日には会員が集まって、故人の思い出話をしたり、会員同志の親睦の場とすれば有意義な会合になることゝ思う。

一言

▽三月弥生何んとなく春めいた響きをもっている。一雨ごとに木樹の芽は大きくなるようで、新生のいぶきが感じとれる今日この頃である。友愛の父一鳩山一郎先生のしてくられた月でもある。春を待たずにといわれるが、先生の過した早蕨は季節を忘れさせる程大きなものがあり常に春風たいとうの気をたゞよわせている。

▽今月の早朝墓参会に集まった人々の思い出話のはしはしにも先生の遺徳はしのばれ、いまさらながら指導者、先覚者としての偉大さを痛感させられた。しかしなんといっても先生亡きあとの友愛が今日あることは鳩山薫長を中心に固い団結とけんしんを続ける全国の同志諸兄姉の結束にほかならない。

▽本部としても本年度の大会には、常に本会のために暖い目をもって見守り、御指導、御鞭撻して下さった多くの方々に感謝するとともに会結成以来幾多の困難を克服し、友愛の火を燃し続けた会員の労をねぎらうことにしている。一日に八年というが私達にとっては、長い苦難の道でもあり、栄光への思い出多い月日でもあった。大会での感謝・衷心にも私達の思いがこもった形をとりたいものである。

▽全国大会のことがたびたびでてきて、紙面を続けると、故鳩山一郎先生の祥月命日（三月七日）で決意をあらたにする本会は、いよいよ大会運営に入るのである。大会招集状の発送をかわ切りに、本部への出入りも増えしげくなり、地方との連絡、会場、宿泊所の契約、提出議題案の作成等多忙な毎日を過すように成る。

▽忙がしさにまぎれ事務の移り変りも気づかれず行き過ごしがちな私達について先生の命日を深をつげる響きを持っている。新生への いぶきは、これによって同志諸兄に飛躍へと引き進められて いくのである。地方にある会員も大会への結集を心待ちにしていることであろう。先生の命日の月にあたり遺徳を汗ばさないようお互にはげまし合って頑張ってゆこう。

農業基本法の問題点

わが国農業の方向を規定する、農業基本法が2月18日国会に提出されたことによって、今国会後半の最大の争点としてクローズアップされてきた。加えて社会党及び民社党案も同時に提出され、三つどもえの対決となった。

「自立経営農家を育成して農家所得を向上させる」政府案「経営の共同化で零細農家を含めた農業所得向上をはかる」社会党案に「農協中心に農業の近代化を促進する」民社党案が加わり、農業団体もこうした政党の動きと同様三様の動きを示している。いずれも終局の目的は農業所得を他産業と均衡のとれるものに引きあげるといいながら、わが国農業の現状分析は勿論これをどういう方向で解決してゆくかはかなり開きがある。

農業の憲法ともいうべきこの法律に対する各政党の力の入れようも大変なもので、まず自民党が池田首相を押したてて「農業基本法推進演説会」を主要都市で開催すれば、社会党もこれを契機に労農提携、農民層への食い込みを策するため全国的に遊説をこころみる計画をたてている。農業問題が根本的に論争されるのは最近にないことで、この結果「取り残されている農業」が他産業と並行して営なまれるようになれば、農民は勿論国民全体の利益に一致するわけで大いに論議をつくしてもらいたいものである。（編集局）

	政府案
目的	農民の生活水準を他産業従事者と均衡のとれるようにする
農業生産	生産の選択的拡大と生産性の向上で農業総生産の増大を図る
価格	生産事情、需給事情等を考慮して価格の安定を図る施策を講ずる
農業構造	家族農業経営を近代化し、生産行程についての協業を助長する

	社会党案
目的	農村と都市との生活文化水準の格差を解消する
農業生産	長期の農業基本計画にもとずき、国内自給度を高める
価格	生産費・所得補償の原則にもとずき価格を支持する
農業構造	農業生産組合を育成し農業経営の共同化を促進する

政府案は昨年春農林漁業基本問題調査会（会長、東畑精一氏）の答申を礎としたもので、当初は経済合理主義を徹底して農政の転換をはかろうとする意図が強く表われていた。即ち今迄の農政は、食糧増産政策、農業保護政策が重視され、ここ数年の間に農産業に対し、農業省原案をかなり修正したものが出来上り、評価も原案より前進したというのと後退したとの二つの見方がでている。

一方社会党でも政府案の提出されるより二日はやく農業基本法を国会に提出した。政府案が自由経済を前提としての農政であるのに対し、農業を弱肉強食の自由経済に組み入れることはできない」として、国ぜんたいの経済を計画化する道すじを農政という場であらわしているように、根本的な対立をみせている。そこで今回は各党の対立点を多少おりまぜながら政府案の問題点を採ってみることにした。

◇農業基本法の目的

前文及び総則に規定されている通り、わが国の農業を他産業との格差を是正されるように生産性を向上し、農業従事者の所得を増大し、他産業と均衡のとれた生活を営むことができるようにすることを目的として農業基本法がつくられている。こゝで一番問題となることは、家族経営を主体とする自立経営農家が、高度成長を予想される他産業の所得と均衡できるかである。池田首相のいう「農業人口をいまのままにして農業所得を上げることはできない」ということは、現在経済の成長で農業人口が減る傾向があり、離農者の受け入れ体制ができているとはいえ、社会党が強くPRしている「貧農切り捨て」の政策になる恐れがある。又農業保護政策の伝統を活かし「農業の自然的経済的社会的制約による不利を補正し」とはっきり農業の不利を国が補うことを義務づけている。わが国農業の現状をみて他産業より不利な点は非常に多く国の補助がなければたちゆかないことはわかるが、農業の体質改善が要請されていると、農業保護、辺倒にならなければ良いがとの声も上っている。目的に関する限り社会党、民社党とも字句に表われていることはだいたい同じといえる。

政府案ではこの目的を達成するため第二条に八項目にわたって国の政策を規定している。①農業生産の選択的拡大②土地・水の利用③農業経営の規模拡大④農産物の流通⑤農業の生産条件⑥農業資材⑦農業従事者⑧環境の整備をその政策金額にわたり必要な施策を総合的に講ずることになっている。社会党案にしても国の責任で規定している通り、土地に関する（水を含む）利用の高度化、農業経営の共同化及び近代化、農畜産物の価格の安定及び流通の合理化農業用材等の確保、農業災害対策の助成、保護その他必要な農業政策、財政政策、金融政策等の諸策を総合的に講ずるとうたっている。宇句だけをみればあれもこれもとは勿論で、考え方は相当な開きがある。

◇農業生産

政府案は需要及び生産の長期見通し、農業生産に関する施策、農業災害に関する施策の三点をとりあげ、特に農業生産に関する施策において、「農業生産性の向上及び農業総生産の増大を図る」ことを義務づけている。この点を各方面が問題としているところで、選択的拡大と総生産の増大をどう調整するか、社会党の強く主張する国内自給度の向上をどう考えないのか、不満も多いようである。農政の陽の当る地域と当らない地域を区別したり、また農民のために国が力を入れる農畜産物を捨てるような結果になるかというのである。政府案では需要に見合う農産物、たとえば畜産、果実などの選択的拡大をはかることに重点が置かれ、社会党案では、飛躍的な生産力拡充による農産物の自給度向上をはかり、このために土地利用の高度化、農地共同化経営の共同化の促進等を生産対策としていることは、相違点として重視しなければならない。

◇農産物の価格及び流通

政府案はまず農産物の価格の安定を、農業の生産条件、交易条件等に関する不利を補正する施策の一環として、生産事情、需給事情物価その他の経済事情を考慮しておこなうと規定している。また政府の施策の実施については現在の農業協同組合を発展させるいわゆる協同会社の構想をもって合理化をはかろうとしている。いずれにしろ矛盾の多い食管制度との関連で合理化の達成できるか農産物の価格安定はなかなか大変な仕事といえる。一方社会党案では価格支持をはっきり規定し、生産保障の原則をうたっている。また流通の合理化農協による共販事業の促進とともに取引の適正化をはかるため市場の国営とすることを考えている。

◇農業構造の改善

政府案、社会党案とも共同化の方向をとっているが、自立経営を重視する政府案と農業生産組合による経営共同化を強く打ち出している社会党案では同じ方向をとりながら、かなりの相違を感じる。「構造改善」も自立経営の育成を中心におこなわれる限り思い切った施策をとれないとまではわかるが、もう少し共同化について突込んで構想を発表してもよいのではなかろうか。一応政府案も自立経営に達しないものの協業化を助長するため農業生産法人、農業生産協組を作ることにしている。

以上簡単に農業基本法について述べたが、各項目にわたる対立点は今後大いに論議をつくし多くの人々のなっとくを得るよう農業基本法をつくってもらいたいものである。農業の行きづまりはだれでも認めるところで、政府案や他産業の成長によって打開することを打ち出せば社会党は農業の矛盾はあくまも解決しないとし、民社党は政府、社会党案の中間的表現が多い点など、それぞれの特徴を出しているが、われわれもこの問題についてさいに研修すべきであると考える。

構造政策と農村問題

転機に立つ農村

富山　竜雄

農業構造改善の目的と意義は已に明白を要しない。また、その実現の政策については多くの論議がなされているところである。要は、需要側に立つ第二次、第三次産業部門の「成長の速さと構造変化の関係」（成長率、各部門間の増加率、雇用量など）に対する供給側たる第一次産業の諸事情による釣り合い如何が解決のきめ手となろう。現状では「労働力調査」によるとの対比において検討すればよいである。

まず、離農促進であるが、これは所得倍増計画に基く一般産業の高度成長を目指す構造変革政策であることから、その実現のための基底であり既結としての構造的農業就業者数は、昭和三十年から三十四年まで四十九万人の減で続き農業就業人口を過大にみて五年間は二百万人ずつ減少したとしても、十年間で四百万人程度の減少となり、これでは明かに構造政策の目標（四割削減の場合六〇〇万人）とは大きく喰い違ってくる。したがって、目標とするより以上の労働力需要を満たす為には、需要側の低賃金を十分に余剰労働力を吸収し得る過去の安易な考え方や機構の改善を伴なわねばならないし、同時にやがては耕地面積の統合、協業化による大規模農業への転換がスムースに行なわれ、飛躍的に農業生産性を高揚することが、大きくその実現を左右する何ものと想像されるのである。

つぎに、いうところの自立経営育成策の目標とするところは、所得倍増計画に基く他産業部門の所得水準と均衡のとれた農業所得を確保するため、平均耕地面積二・五ヘクタール、家族労働力三人から、生活安裕水準および経営能率を有する農家、約百万戸以上の収益をあげる農家、約百万戸を選定している。

ところが、現状での所得倍増では、戦後十四年間に農業生産は三倍増加しているのに対し、農業就業人口の増加は三割にすぎず、年率三%とみても十年後の生産は二十才以上四七%、女子二十五才以上四一%の構成で、壮年・老年層の比重が高いとともに女子就業人口の急増が注目される。

なしには労働力需要の実現が不可能となるであろう段階を心ずきである。農村における最近の労働力不足はしばしば耳にするところであり、いうれば「農業革命」ともいわれる近代的農業の到来如何が、その実現を左右する。

農業就業者数は、昭和三十年から三十四年まで四十九万人の減で続き農業就業人口を過大にみて五年間は二百万人ずつ減少したとしても、十年間で四百万人程度の減少となり、これでは明かに構造政策の目標（四割削減の場合六〇〇万人）とは大きく喰い違ってくる。したがって、目標とするより以上の労働力需要を満たす為には、需要側の低賃金を十分に余剰労働力を吸収し得る過去の安易な考え方や機構の改善を伴なわねばならないし、同時にやがては耕地面積の統合、協業化による大規模農業への転換がスムースに行なわれ、飛躍的に農業生産性を高揚することが、大きくその実現を左右する何ものと想像されるのである。

つぎに、いうところの自立経営育成策の目標とするところは、所得倍増計画に基く他産業部門の所得水準と均衡のとれた農業所得を確保するため、平均耕地面積二・五ヘクタール、家族労働力三人から、生活安裕水準および経営能率を有する農家、約百万戸以上の収益をあげる農家、約百万戸を選定している。

ところが、現状での所得倍増では、戦後十四年間に農業生産は三倍増加しているのに対し、農業就業人口の増加は三割にすぎず、年率三%とみても十年後の生産は二十才以上四七%、女子二十五才以上四一%の構成で、壮年・老年層の比重が高いとともに女子就業人口の急増が注目される。

また、自立育成面についてみると、昭和三十年から三十五年にかける農家の減少数は一万九千戸（〇・三%）で驚くほど少く、これでは十年間の減少によってせいぜい、戦前の五百十万戸に復帰する程度に終ろう。それだけに自立経営農家の育成は多難であり、この点から集団化による共同化（農民集団による大経営）の必要性がとくに要請される。また問題の二ヘクタール以上の農家数をみると、三十年度でそれぞれ二十万九千戸、二十三万六千戸で一年平均五千四百戸の微々たる増加であってみれば、これまで多く期待し得ない とみねばならない。

以上が、構造政策の実現をめぐって関心をもった第一点の要旨であるが、その困難性は同時に、農業人口の急激な減少、将来農村の崩壊など戦後の社会経済発展変革により、漸次民主的考え方や近代的価値観を身につけるとしてはいるが、その本質は、連綿として継承された家父長的家族労作経営の中に、いまなお厳として生きている。

まづもって、企業的大規模農業にふさわしい担い手としての条件は、古い殻から脱皮し客観的価値評価の可能な正しい価値意識を身につけることが先決であり、それには、孤立分散的な一人よがりな農民から脱し、共同で考え共同で処理してゆくだけの雅量をもち、要は政府の施策をこなす足る力量と自負をもつことと、今後の農林当機の打開にとって必要と思われる。（筆者は東京農業大学講師）

珈琲は
あなたの香り
御家庭で
オフィスで
あなたのひとときを
ミカド珈琲で
おくつろぎ下さい
日本橋三越前
珈琲の専門店
ミカド珈琲商会
中央区室町1の6
TEL（241）1057・0530

ごらんになりましたか？　あなたの心に希望と倖せを贈る……
日本婦人新聞
発行所　東京都文京区音羽町7の10　日本婦人友の会
会費　半年　二百円　一年　四百円　お申込みは発行所へ

友愛山荘から

高野政利

冬ごもり

十二月は何時もより早めに雪が降った。軽井沢の雪はさら〜としたお美しい雪だが、乗鞍や湯沢のように冠雪も三尺も積ることはない。氷りついた旭雪に二十糎か三十糎も積れば多い方である。それでも日中少しでも暖が照ればその雪もたちまち解けて、陽蔭にのみ残雪が面影を見せている。

冬の薄陽に照らされる樹々の枯枝は冷たさに耐えてか、どれも白く凝く見える。大空も寒く、大地も寒く、そして地上に棲息するものもすべて固く凍りついている。しかし軽井沢友愛山荘はその凍りついた中にひときわ白きを増して、スケートを楽しむ若い男女の群でそこばかりが暖く力強く息づいている。

夏の忙しさと混雑にくらべて街の中は全く静かで、すでにどの家でもストーブや炬燵は必需品で、家族の多くは雑談と勝負事に明け暮れている。静かなるこもりの季節である。

春と正月

山荘に来る客も少くなった年の瀬飾りをやった。泊り合せた高校生等の元気な手も借りて、湯気のたちこめる中で勇ましく臼をめざして振りおろされる杵の音は、裸の腕にはね返って快よく響いてくる平にされるつきたての餅の感触ははりつめた緊張を忘れさせてくれる。家に居ては味うことのできない楽しさと雰囲気を経験した。

おそなえもできて飾りも済ませるとやはり寒さは相変らず室内に忍びこむ。

玄関に飾られた門松が寒風に吹かれてゆれ動く時、様々な色のセーターを着た男女がホールに集ってお雑煮で賑やかな元日を迎える。誰もが家庭から離れた山荘で元日を迎えるのが初めての人ばかり、正月料理も充分にはなかったが、外の寒風をさへぎるホールの暖かさと共に楽しく賑やかに過すことができた。

氷

盲の周りから忍びこむ冷い風に眼を覚まして暖かい布団のぬくもりを惜しみながら起き出すと室内でマイナス四度を示している寒暖計に眼を見張った。昨夜蹴き忘れたコップの水もすっかり固くなって洗場に流れる水道の水も一夜にして水となってしまう。水道は鉛管が水るのを防ぐ為に少しづつ水を出してあるので、流れ落つる水滴もそのまゝ凍りついて何時が大きく厚く割ることもできない氷となってしまう。最初の頃は水を見る度に声をあげて眼を見張ったものだが、しばらく見馴れてくると、氷の張ることも寒いことも自然で何の感動もなく、たゞ眼に写ってくる姿でしかない。

十二月も終りに近い頃、地面はすでに凍ついて降った雪の解けて流れゆくところもなく溜り水となったものは、夕暮から更に冷えこむ空気にさらされて暗くなる頃には一面が氷となっている。次の日解ける間もなく水を増して一層固い氷となってゆく。近所の子供等がそれを見つけてスケートを楽しんでいた、せまいわずかな氷でも子供等にとってみれば楽しい分達だけのスケート場なのだ、出しっぱなしの水道は、一日毎に氷の厚さを増して、何時か我々までが楽しみ の場所として手入 れをした。それから子供等もあまり来なくなった。

スケート

例年にない程良く氷の張った軽井沢は毎日スケートの客で混雑した軽井沢の天然リンクは、星野、駅前、旧道、東急等数えきれない程ある。パイピングリンクは西武スケートセンターの一つだけだが、国体のあったところで有名である設備や広さの点においても最高であろう。

初めてスケートを足につける人の不安は誰でもそうだろうが、氷の上で立てるのだろうか、ころばないだろうかと手に汗のにじむような気持だ、手をとって教える方も一生懸命で、次の日腕の痛さが忘れられない程疲れてしまう。

若い女性の両手をひろげてよろよろ歩く様や恥しそうに痛くないように、ころんでいるのも可愛いものだ。大きな声で笑っては気の毒だと思いながらも、彼女等の元気な姿にはつい笑い声も高くなってしまう。スケートにけづられた氷の粉を全身につけてはらい落しもしないで再び両手をひろげてよろよろ歩く姿は、傍観者にとっては、微笑と招手をもって心から彼女を支えてやりたい気がする。

心惚く思うものは若い男の力と激しさをむき出しにしてすさまじく人の間を走り回るタンブカー達だ。

㊤友達に助けられながら滑る人
㊦イスにつかまって練習する人

当人にとってみればスケートはこうやるものだと若にみせているのだろうが、見るものにとっては、上手だとは思うがスマートさも美しさも感じない猪にしかみえないさらに自分にはできない憎さも加っているのかもしれないが、いづれにしろ危険な人達としか見えない。腰を深くまげて手を後に組みゆったりと氷上をすべる人達は、自分等にはできなくても本当に上手に美しく見える。

冬の花である雪が降る時のスケートは風いがけない楽しさが笑い声くする。嬉く事を知らない若い人達の中に素晴らしい希望を見出し心から健康を祝い、全身で生きる喜びを味うのもこうした時である。

氷解け

二月も末になると日中の気温も高まり、夜毎の冷える静まってくる山荘へ来る人もなくなり、街の人なんに我々にもそこもりのような休みが訪れる。しかし軽井沢の冬は永い、氷が太陽の熱に解けても水道の水が水らなくなってもそれはようやく東京なみの冬の気温になっただけで、決して春のほのかな暖かさが迫ってきてはいない、家の前にできていた氷壁も、樋を凍らしていた水も全部水滴となって静かに地面を流れ始めると、今まで地表を固めていた水も静かに解けてたちまち一面の泥海となってしまう。

冬の軽井沢は終った、そして春の為に、続いてくる夏の為に、樹木も街も山荘も準備に暇をかせぐの時も、雪は止むこともなく皆を白の中に閉じ籠く、雪をけらしして走る楽しさも、雪合戦にたわむれる

賀正
北炭
北海道炭礦汽船株式会社

鳩山一郎先生の想い出

軽井沢の畠仕事など

柳沢　濃

鳩山一郎先生が逝かれて早くも三年の月日がたちましたが私達にはまだ信じられない程の親しみと消すことのできない面影が残っています。音羽の邸や、或は軽井沢の別邸へ伺えばいつでも優しい笑顔を浮かべて〝やあ今日は〟と親しく呼びかけられる錯覚さえ起こります。そして友愛運動が盛んになれば、はなる程鳩山先生を慕う心持、在り日の 姿は更に強く心に刻まれます。私達の軽井沢友愛山荘の土を踏む人達も同じ様に、かつては鳩山先生御自耕やされたその土地を見て鳩山先生の偉大さに併せて親しみを深く感じることでしょう。私は先生の美しさは自然を愛して農事にお励みになったことにもあるのではないかと思い幾つかの想い出を語り、鳩山先生を忍びたいと思います。

軽井沢は古くから政治家や文化人の避暑地として有名であることは皆さんも御承知の通りですが、中でも近衛公、中野正剛先生、そして鳩山先生の三人はそれゝ特色のある政治家とされています。

近衛公は神柵の大神宮にたとえられ中野正剛先生は馬上にあって鉄扇を振りかざす武将であり、鳩山先生は最も親しみのある「囲炉辺に座って煙管煙草を吸う田舎のオジ様」という感じでした。失礼な感じですがそこに何とも言い知れない内面的な美しさがある訳です。また先生は政治家であると同時に学者であり、穏やかな口調で「実に良い気持だ」と流れ出る汗を手拭でふきながら「今日は雑草取りをして来たよ」と顔をほころばせていました。軽井沢がいくら涼しい土地だからとはいえ、真昼時の直射日光は紫外線が強く都会以上の暑さであり夜風や白熱電球が涼しくしてくれます。その強い太陽の光を浴びて黙々と除草をしておられたことには全く恐れ入ったでしょう。その内容も豆類が多くて頭の下がる思いでした。しかも農事する者にとって一番嫌な雑草を楽しそうにしておられたからです。

一昨年の夏の頃、軽井沢の虹彩を楽しんでいる時、何者かに盗まれ「早速探んだ者を探しましょう」と憲察官が申訳けなさそうに言ったところ鳩山先生は「誰もが迷惑に困っている時だから許してあげなさい」と逆に警官をなだめたそうです。

軽井沢での鳩山先生は畠仕事を中心としての生活に明け暮れ昭和二十八年政界に復帰してからも畠仕事の話は度々でしましたし専門家以上に知識は豊富でした。

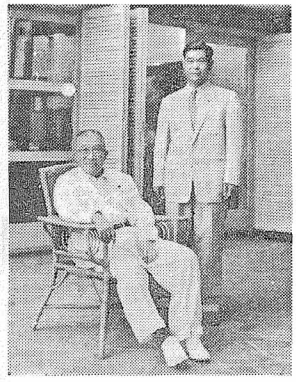
その日も同時もの通り畠仕事に出られているとのことで早速書生さんが畠へ赴いてわざ〜帰って来た。

先生の自然を愛される気持は農作物に限らず早く起きて牛、豚の飼育、乳しぼりまたは蜂蜜の採集などにも広い愛着を感じておられました。

こういうことがありました。

蜂蜜を採った時に巣箱の明りに花を沢山植えて可愛がっていました。そして蜂蜜たちが喜んで、蜜を吸い上げるのを楽しみにしていましたら何日たっても寄りつかずイソモ逆ず飛んで行ってしまってそうです。不思議に思って先生は友愛山荘の下にも、テニスコートゴルフ場の下にも永く想い出は残されています。

昭和二十八年日比谷公会堂での第一声は軽井沢の想出をまぶたに浮かべて「友愛」を説いたのです。



南軽井沢にある私の飛行場に来られては良くそのような話をして下さいました。

御病気になってから畠仕事もお終いになり、人一人いない飛行場から浅間高原の美しさを眺能なさり、樹木や野に咲く花を御覧になりながら鳩山先生の友愛思想は築かれて来たのでしょう。

写真㊤は軽井沢別荘での鳩山先生と筆者㊦は高原でくつろぐ鳩山夫妻

5月1日より
11月5日まで
新緑の軽井沢へ
＝ハイキングにサイクリングにゴルフに＝
所在地・長野県軽井沢町1608 TEL（軽井沢）2477
収容人員・70名
料金・350円（1泊2食付）

第二次建設計画など
財団小理事会開いて検討

友愛山荘

財団法人日本友愛青年協会では二月十日常四回小理事会を開き、友愛山荘第二次建設計画を含む昭和三十六年度事業計画並びに予算案の大綱を審議した。

まず北川（財）事務局長より猪苗代、磐梯スキー場の視察報告、一般会務運営報告があり、第二次建設計画については、東京、大阪、札幌、猪苗代の四ヵ所を挙げ、募金目標額七〇、〇〇〇、〇〇〇円来年度中に着手予定のものとして札幌、猪苗代の二山荘を決定した。特に大阪については高碕理事と十分懇談の上具体的な検討を行うこととするが、当面の第二次計画には加えることとした。

川崎副会長と懇談

当面の問題を検討

内外の諸問題をかかえての第八回全国大会を迎えるに当って、川崎秀三副会長と常任幹事との懇談会を行なった。二月六日午後六時、川崎副会長の招待により尾崎記念会館渡ストランで、夕食を共にしながら、当面の問題を検討、特に

一、右翼テロ排除の対策と青年集会

二、昭和三十六年度運動方針の重点

三、海外派遣と国際交流

四、山荘建設運動の現況と問題点

など所議題の中心となった所、具体的な検討を行なうことに決定した。

福島県連
4月16日に結成

このほど福川広中、地方事務部長が福島県下巡回より帰京し、四月十六日（日）に猪苗代町において県下の各支部・地区の代表者が集まり、友愛青年同志会福島県連合組織委員会を結成することに決定した。

まず昭和三十六年度の役員選出では来の決定通りに組織工作及び支部・地区との連絡のため大規模なオルグを派遣し、組織の拡大と点検を行っている所、会結成大会を開催することに決定し、準備を急いでいると報告があった。福島県連は、猪苗代支部長組織常任委員の清水交夫君が中心となり以前より計画を進めていたものであるが、このほど早川地方対策部長の派遣によって具体化したものである。

世田ヶ谷支部

東京都世田谷支部は、東京都支部連合会常任委員の笹見和良君、本部企画部長の山田元治君を中心となり昨年より準備を進めていたのであるが、四月二日（日）に多数の会員が集まり結成大会を開催するはこびになったのである。

執行部の充実を計る
＝余市支部（北海道）＝

吉川幸一君の北海道会長就任によって役員の首がえりをおこなった余市支部は、北海道連の中心的役割をはたしていることは勿論、支部独自の拡充にも大いに力を注いでいる。

まず昭和三十六年度の役員選出にあたり執行部を充実させ各専門部の責任制を確立強制的な各種行事をおこなうことを決めた。その主なものは、助け合い運動がやっもすると感情のみに限られているようなので、随時おたがい忘れられることのないよう心がけることや親睦の会・文化サークル等を設け一般の人々にも開放し本会への認識を深めるようにすることなどがある。

【余市支部役員】

支部長	土田　英彦
書記	小田田美子
会計	川又　博
同	下山　静子
指導教育部長	飯田　研治
同	工藤　幸子
事業部長	字佐美治
同	新井　田満
執行部	
部長	富永　勝美
情報宣伝係	弘津　誠司
青年対策係	本間　孝一
婦人対策係	渡辺恵津子
学生対策係	木下　啓美
地域外対策係	渡辺満里子
事務局長	芳岡　敦子

会代表が傍聴
＝全国青年研究集会＝

日本青年団協議会の定期行事である全国青年研究集会が、去る二月二十四日から二十七日までの四日にわたり日本青年館で開催された。

同集会は、六分科会にわかれて多くの問題を厚問的に、深く掘り下げ研究する事を目的としており各人が、青年団生活を通じて直面した問題点をレポートにまとめ、全国から参集した代表に提起し、真剣に討議するものである。全国から集まる代表は百名を越え、しかも組織にわたって綜合的に討議研究する集会は、この青研集会だけであるとのことから、本会では、興田常事長をはじめ十五名を傍聴に派遣し見学した。参考までに分科会の構成を記すと次の通りである。

第一分科会　青年の生活

1、農山村のくらし
2、都市のくらしの問題
3、漁村のくらしの問題
4、二、三男出稼ぎと兼業農家の問題

第二分科会　生産活動

1、水稲栽培の近代化
2、畑作改善と共同化
3、農業経営の合理化
4、女子の生活と生産活動
5、農政の問題

第三分科会　学習活動

1、演劇・音楽活動
2、話し合いと生活記録・読書活動
3、勤労青年教育の問題
4、共同学習の問題

第四分科会　組織の問題

1、青年団におけるグループサークルの問題
2、情報宣伝活動
3、組織の自主拡大、強化の問題
4、女子活動における問題

第五分科会　社会活動

1、家や部落の民主化
2、町や村の民主化
3、青年団活動と国の政治

特別分科会

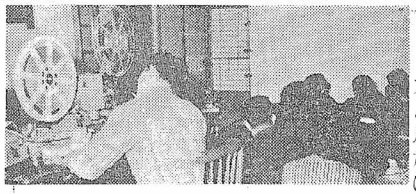
1、人権と差別の問題
2、保健、体育の問題

改選を終って，今後の活躍に胸ふくらませる余市支部新役員

広島県連文化祭
尾道友愛山荘竣工記念

尾道友愛山荘が竣工して早や一年目をむかえた所、竣工一周年を記念して広島県連では尾道市千光寺公園野外劇場で、四月九日広島県連文化祭を開催することになった。同文化祭は広島県連傘下の各支部地区会員が中心となり、素人のかくし芸をはじめ多彩な催しになる模様である。

友愛マラヤの集い



アジア・アフリカ問題研究会主催による「友愛マラヤの集い」は、去る3月5日午後1時30分より東京音羽の鳩山邸離れにおいて開かれた。当日はマラヤ大使館よりラーマン書記官を招き、現地事情を聞くとともに、参加者の質問にも答えていただいた。現地事情を聞くに先だち、マラヤ大使館より提供された映画を上映したので大いに参考になり、意義ある集いとなった。なおマラヤ派遣代表の鶴巻・吉川の両君も出席挨拶をした

マラヤ訪問日本代表団
結団式

マラヤ訪問日本青年代表団（団長鶴巻克雄）本会常任幹事）の結団式は三月十五日東京のスポーツマンホテルにおいておこなわれることになった。

なお出発は三月十八日正午である所、その後マラヤ側その他の連絡の結果次の日程によりマラヤをはじめ各地を歴訪する予定である。

三月十八日（東京発・マニラ着）三月十九日～二十日（マニラ）三月二十日～二十三日（バンコック）三月二十三日（クアラルンプール）三月二十三日～四月十五日（この間訪問団の希望に入れてマラヤ側で日程を作成）四月十六日～十九日（シンガポール）四月十八日～二十日（サイゴン）四月二十日～二十二日（ホンコン）四月二十日（東京着）

第十一回常任幹事会
大会準備を急ぐ

第十一回常任幹事会は去る二月十三日午後六時本部事務所において開催された。

会議はまず渡辺事務局長より第八回全国大会の準備状況及びマラヤ派遣代表団等を中心にした一般会務報告を聞き次の各事項について審議決定した。

一、第八回全国大会提出議題について

運営委員出議案と特別提出議題案にわけ、それぞれの立案者とともに別除の通り決定した。

一、第八回全国大会予算について

具体的な予算措置を講じて、準備に万全を期す。

一、マラヤ事情の講演と映画の会開催について

「友愛マラヤの集い」としてアジア・アフリカ問題研究会が主催する。

一、右翼テロ対策について

右翼テロ対策について本会の態度を表明した。先般の執行部会議の抗議声明を確認した。

東京都各区
支部結成の準備

東京都連では全国大会を控え今年度最後の組織工作として、都内文京区、台東区、中野区、世田谷区に支部を結成するため準備を進めている。

文京区は、浅木えみ子（幹事）婦人対策部長、中村勇一（幹事）清水幸重の三君、台東区は柳沢定勝君（常任幹事・都連常任委員）、中野区は白河忠一君（都連常任委員）、世田谷区は浦見和良君（都連常任委員）がそれぞれ中心になって支部結成準備のため活躍している。四区共四月中には結成される模様である。

米年度の都連の活躍が期待される。

将棋・囲碁
四月十四日無料教授

関東学生部の有志によって将棋・囲碁の研究会を開催することになった。まず来る四月十四日（日）正午より文京区言問の鶴山邸離に有段者を招き一般会員の無料教授をおこなう計画で、以後毎月研究会を開催することにしている。学生部会員にかぎらず一般の方々の参加を希望している。

山友会ハイク

山友会では左記の通り奥武蔵へ今春第一回のハイキングをおこなうことになった。会員は勿論、一般の方々の参加を望んでいる。

——記——

期日　三月二十六日（日）

コース　菅野―刈場坂峠

集合場所及び時間

西武線池袋駅改札口

午前七時三〇分

会費

予定　池袋発（七・五）

四）吾野着（九・〇五）吾野発（一八・二三）池袋着（一九・三〇）

友愛山友会

アルバイトの斡旋

関東学生部では、学生会員の福祉と、会員の会認識を深めるための活動の一つとして、アルバイト斡旋を始めることにしましたので、皆さんの御協力を願います。手始めとして、三月下旬調査をおこなって、皆さんの希望を知り、四月に本紙上に発表致したいと思います。

なお、ただいまのところ、この春休みのアルバイトとして、二百余人が来て居り、四百円以上で二十名の希望者に応じられます。詳細を知りたい方は、本部に電話なり、手紙で御通知下さい。

担当委員　小袋、林、吉田、村田（以上学生部）中村（本部事務局）

学生対策部

エバーソフト

エバーソフトはブリヂストンが責任をもっておすすめする商品です。なかのゴムは勿論、カバーも特に吟味して良質のものを使用しておりますので安心して御使用して頂けます。最近　類似品がありますから、お買求めの節はブリヂストンのエバーソフトと御指定下さい。

—会員割引—

エバーソフト全製品を会員には割引で販売いたします。

送料（関東・甲信越は当方が負担。その他の地方の方は実費をいただきます）

お申込は

友愛青年同志会事務局へ

楽しみの多い証券貯蓄

岡三の投資信託

只今募集中　1口　5,000円

あなたのマネー・コンサルタント

資料のお申込は
東京日本橋局区内
岡三証券業務部

岡三證券

本社大阪市東区今橋2の3

支店　東京・名古屋・京都池袋国主要都市

うちのくるま！プリンス！

ご家庭で…会社で…そう親しく呼ばれています

これからの高級乗用車に要求される条件をすべてとり入れた　高性能への信頼感

合理的な横一列4ランプを中心にした　美と気品にあふれるトップスタイルの魅力

そこで　プリンス・ニュースカイラインの愛用者の方々が　プライドを持って言われるのです

「うちの車は　プリンス！」

プリンス／4ランプ・70馬力

ニュースカイライン

新型・スタンダード乗用車

プリンス自動車販売株式会社

製造会社富士精密工業株式会社